

📢 在校生・校長先生からメッセージ



青木 芽生 (3年) 礼文高等学校 生徒会長

礼文高校の最大の魅力は、先生方や先輩後輩はもちろん、地域の方々とも距離が近く、温かい交流ができることです。体育大会や学校祭では、他学年との交流が深まり、みんなで作り上げる達成感は、礼文高校でしか味わえません。また、手厚い進路指導も礼文高校ならではの強みです。検定費の助成制度も活用しながら、先生方が一人ひとりに寄り添い、全力でサポートしてくれます。そのおかげで、将来の選択肢が大きく広がると実感しています。最北の地で、私たちと一緒にかけがえない3年間を過ごしませんか？



吉川 和希 (1年)

礼文島は国立公園に指定されるほどの自然豊かな日本最北端の離島で、咲き誇る高山植物の多さから「花の浮島」とも呼ばれています。礼文高校は全校生徒43名と少ないですが、少人数だからこそできる先生方のきめ細かい指導や、先輩方・地域の方々ともより交流を深めることができます。1年生は9月にアメリカ・ロサンゼルスへの約2週間ほどの海外交流があり、机に向かうだけでは得られない英語力を獲得できます。また、「高山植物」の授業があり、実習等を通して高山植物についてより理解を深めることもできます。大切な高校3年間だからこそ、礼文島でしかできない唯一無二の体験と礼文高校でしかできない学びを経験してみませんか？



中西 正志 礼文高等学校 校長

礼文島は、高山植物が咲き誇る「花の浮島」として知られています。どこまでも広がる紺碧の空とオーシャンブルー、そして暖流の対馬海流と寒流のリマン海流が育む豊かな海の幸、日本国内はもとより海外からの多くの観光客を惹きつける魅力あふれる島です。このパンフレットをご覧いただければ、「日本最北」の礼文高校が、豊かな地域資源を最大限に活かした貴重な学びを数多く提供していることがお分かりいただけるでしょう。少人数制だからこそ実現できる、一人ひとりを大切にしたきめ細やかな指導も大きな魅力です。心温かい島民に支えられながら、自立した大人になるため、礼文高校で3年間「留学」して自身の夢を実現しませんか。

過去3年間の進路実績

【進学先】

都留文科大学、大分大学、北海道大学釧路校、名寄市立大学、長崎大学、北海道医療大学、日本大学、東海大学、名古屋学院大学、千葉商科大学、札幌保健医療大学、札幌学院大学、徳島文理高校、北海道文教大学、北海学園大学、駒澤大学、北翔大学、北海道立漁業研修所、経専北海道保育専門学校、北海道情報専門学校、大原簿記専門学校、札幌ベルエポック美容専門学校、神戸製菓専門学校、京都外国語専門学校、北海道看護専門学校

【就職先】

礼文町役場、礼文町商工会、船舶漁業組合、香深漁業組合、ハートランドフェリー、消防署、警察署、稚内信用金庫、商工会議所、日本郵便、北海道職員、宗谷市町村会、刑務官

オープンスクールについて

要事前
申込

2025年8月29日(金)

午前：礼文町支援説明会・学生寮見学 / 午後：礼文高校オープンスクール
※学校見学はオープンスクール以外でも事前にご連絡をいただければ随時対応いたします。

お問合せ・オープンスクール申込先



礼文町教育委員会 高校支援室

〒097-1201
北海道礼文郡礼文町大字香深村字ウウシ958番地4
礼文町町民活動総合センター「ビスカ21」内
TEL 0163-86-2119 FAX 0163-86-1790
MAIL shien@town.rebun.hokkaido.jp



北海道礼文高等学校

〒097-1111
北海道礼文郡礼文町大字船泊村
字ヲチカフナイ27番地
TEL 0163-87-2358 FAX 0163-87-2301
MAIL rebun-z0@hokkaido-c.ed.jp

最北れぶん留学公式ホームページ
www.rebun-ryugaku.jp



@rebunryugaku



@rebunryugaku



最北留学

海の向こうには
新しい世界が
待っている。

日本最北の離島、北海道礼文島。
ここでしか体験できない自然・文化を吸収し
じぶんらしい未来をみつけてみませんか。

**2026年度
入学生 全国募集**
北海道礼文高校では入学生を
全国から募集しています。

北海道礼文高等学校

礼文高校の校訓のひとつである「進取」。
自分から進んで物事をするその姿勢を
カリキュラムに色濃く取り入れ、
実体験を通した授業を積極的に行っています。



礼文ならではの特色あるカリキュラムで、学ぶ意欲を刺激。

フィールドワーク

礼文島の教育資源を活用した授業を行います。

- 礼文に自生している植物やウニを用いた染め物(家庭科)
- 手作リルアーや野外炊飯など自然を深く味わう活動(体育)
- 残したい礼文島の文化について体験を通じて学ぶ(社会)



高山植物

礼文島に生育する高山植物群を中心とした生物の観察、実験、実習を通して、礼文島の自然について広く学び、自然保護について科学的に探究する能力を養います。また、学習のまとめとして、高山植物の写真を使用したカレンダーやパンフレットを作成します。



礼文の自然と観光

礼文島の自然や観光について学ぶとともに、自然保護や観光業の課題解決に向け、情報を収集・分析し、探究する力を養います。高校花壇での高山植物の育成や、高山植物ガイド実習、観光パンフレットの作成などを通し、礼文島の魅力を発信していきます。



生活産業基礎

衣食住やヒューマンサービスに関する生活産業・職業への関心を高め、必要な知識・技術を習得し、これからの生活産業を創造する力を育みます。R6年度に行った食生活産業の学習では、特産物を使ったパスタメニューの考案を行いました。



観光大使活動

礼文島観光協会から観光大使の委嘱を受け、見学旅行先で礼文島のPRを行います。礼文島のパンフレットや昆布、高山植物の種等を配付するなど、礼文の自然の豊かさを広める活動です。「生活産業基礎」「礼文の自然と観光」の授業の中で準備を行います。

食文化

食文化の成り立ちや日本と世界の食文化について理解し、礼文島の食文化の伝承と創造について課題を設定し、その解決を行います。ホッケの加工品を柱として行っています。地元ならではの美味しい食べ方を知り、その伝承と魅力を高めるアレンジレシピを考えます。



太古の自然が残る 日本最北の離島、礼文島。

北海道北端の稚内市より西方59kmの日本海に位置する離島、礼文島。アイヌ語の「レブンシリ=沖の島」が語源で、北海道では稀にみる澄んだブルーの海を有した、人口約2,200人の小さな島です。日本海側のため対馬暖流の影響を受け、内陸の気候と比べると比較的温暖です。また、オホーツク海から流入する流氷の影響もほとんどなく、夏期は冷涼で冬期は温暖となり、本州ほど四季の区別のない気候です。



高山植物が咲き誇る花の浮島

春から秋にかけて、およそ300種類の花々が咲き乱れ「花の浮島」とも呼ばれています。本州では約2,000mの山岳地帯でないと見られない希少な高山植物が海拔0mから見ることができ、固有種も多数存在する珍しい島です。

古代のロマン溢れる最北の縄文遺跡

これまでに55ヶ所もの遺跡が見つかった礼文。国の重要文化財に指定された縄文の出土品、北海道ならではのオホーツク文化やアイヌ文化の遺跡に接することができるのは礼文だからこそ。数千年前から人々が行き交う北の島のロマンがあります。



3年間の段階的な教育カリキュラム

	1年	2年	3年
礼文島の研究	高山植物	生活産業基礎	地域水産基礎 食文化 フィールドワーク
地域と協働した観光地域づくり			礼文の自然と観光
英語力を活かした情報発信	海外交流事業 ✈️ロサンゼルス留学(2週間)	ALTを活用した外国語授業の充実	

は選択授業



異なる国の言葉や歴史、そして文化。
異文化との交流は、人を大きく成長させます。
礼文町主催の海外交流により、
アメリカでの国際交流を通して、
お互いの文化や価値観について広く学びます。

国際交流で異文化理解を深め、グローバルな感覚を育む。

海外交流事業

「高校在学中に海外の文化や語学、自然に触れる異文化体験を行うことにより、グローバルな視点と豊かな国際感覚を育む」という目的の下、礼文町が主催し、平成24年度より海外交流事業(短期ホームステイ留学)が始まりました。アメリカ・カリフォルニア州の国際都市ロサンゼルスを訪れ、現地家庭でのホームステイでは生きた英語と米国の生活様式を学び、国立公園見学や現地校での様々な体験活動を通して日本及び礼文島を客観的にとらえることにより、故郷の価値を再確認することができます。



北海道発祥の「よさこいソーラン」の発表や自己紹介、プレゼンテーションをすることで、自信を付けるとともに異文化に飛び込み、自ら積極的に学ぶ姿勢を2週間の海外交流事業で体験し、学びます。ホストファミリーデーでは、学生の「やりたい事」に連れていってくれるホストファミリーも。過去には自動車博物館やグリフィス展望台、海釣りに行った学生もいます。帰国後は、海外交流事業に参加した全ての学生にアルバムを作成し、プレゼントしています。



令和元年に、海外交流事業発足当時より交流を深めてきた、カリフォルニア州Burbank市のJohn Muir Middle Schoolと姉妹校となり、海外交流事業に合わせて行われる日本と日本文化紹介イベント『ジャパン・デー』に参加。現地の学生たちと交流し、英語力向上を図ります。Campbell Hall School、Notre Dame High Schoolとの交流では、同世代の高校生に交じり、日本語クラスに参加。言葉だけではなくコミュニケーションを学ぶことで広い視野を育てます。



海外交流事業を経験した先輩たちの声

アメリカの方々は、私が「Thank you」というと必ず「You're Welcome」や「Sure」と言ってくれます。また、何かできたときに「Perfect!」と称賛してくれます。アメリカの方々は決して否定的にならず肯定的に接してくれるのです。初の海外で戸惑う中そのような言葉をかけてくださったおかげで毎日楽しく過ごせました。

私は最初、緊張や不安であまり上手に会話ができなかったですが、わからないことはわからないままにせず積極的に聞くことで、段々と緊張もなくなり会話ができるようになりました。会話をする上で、アメリカの方はジェスチャーや表情など全身で会話をしているように感じました。表情力豊かでリアクションが大きかったので会話をしているととても楽しかったです。

未だ見ぬ出合いがここに。

留 学 先 | アメリカ・カリフォルニア
時 期 | 9月中旬～下旬(2週間)
滞在形態 | ホームステイ
対象生徒 | 全1年生
費 用 | 礼文町で全額負担 ※一部現地負担有り

※留学時期は、年度によって前後する場合があります。



2025年度スケジュール(予定)

日 付	スケジュール	宿 泊
9/13(土)	フェリー・飛行機移動(礼文島ー稚内ー東京)	東京泊
9/14(日)	飛行機移動(東京ーロサンゼルス)	ロサンゼルス泊
9/15(月)	国立公園での自然体験学習	ロサンゼルス泊
9/16(火)	ホームステイファミリーと合流	ホストファミリー
9/17(水)	学校訪問①	ホストファミリー
9/18(木)	学校訪問②	ホストファミリー
9/19(金)	学校訪問③	ホストファミリー
9/20(土)	ホストファミリーデー	ホストファミリー
9/21(日)	ホストファミリーデー	ホストファミリー
9/22(月)	在日本国総領事館表敬訪問(午前) ロサンゼルス市内アドベンチャー(午後)	ロサンゼルス泊
9/23(火)	ロサンゼルス国際空港発	
9/24(水)	東京到着	東京泊
9/25(木)	飛行機・フェリー移動(東京ー稚内ー礼文島)	



新しい出会い、新しい学び、新しい環境。
そこには不安や負担がつきものです。
礼文町では、学生のみならず保護者の方々も安心できる
支援制度を豊富に設けることで、不安や負担を減らし、
充実した3年間を過ごせるようサポートします。

充実した就学支援制度で学費等の負担を軽減。



5万円
助成

制服等購入費助成

入学初年度のみ、5万円を上限に制服や
ジャージ等の購入費を助成しています。高校
入学の金銭的負担を少しでも軽減します。



半額
助成

教科書等購入費・ 学習支援サービス利用料助成

毎年度、教科書や副教材等の購入費及び、
学習支援サービス利用料を半額助成してお
り、教育環境を整える後押しをしています。



5万円
助成

端末機器助成

入学時に遠隔授業等で使用するPCやタブ
レット機器の購入費を5万円を上限に助成
しています。



1ヶ月実費
3千円

バス運賃助成

島内を行き来するには、公共交通機関のバ
ス利用が欠かせません。礼文高校に通学す
る生徒には、1ヵ月3,000円の負担で利用可
能な定期券を発行しています。風雨、風雪を
心配することなく通学できる環境です。



半額
助成

昼食費助成

礼文高校での昼食費1食分の半額を助成し
ているため、お弁当を半額で購入すること
ができます。(春・夏・冬休みを除く)。親元から
離れても食をおろそかにしないように、学生
のためのサポートをしっかりと用意しています。



全額
助成

資格取得費助成

資格取得費用の助成をしています。町内で
受験することのできない検定試験を町外で
受ける場合は、フェリー往復交通費の全額、
陸路の交通費や宿泊費も一部助成されま
す。

- 日本漢字能力検定
- 数学検定
- ビジネス文書実務検定
- 実用英語技能検定
- 危険物取扱者
- 硬筆毛筆検定



女子寮個室

全室家具付き居室

各居室に、収納棚・ベッド・冷蔵庫・デ
スク・デスクライト・イス・カーテンが備
え付けられています。少ない荷物で入
寮できるので、すぐに快適な生活を始
めることができ、プライバシーも守られ
ています。



常駐の管理人や調理員が 日々の生活をサポート

朝・夕の食事はもちろん、不在時の宅
配便の受取りや急病の時の対応等、
常駐の管理人が日々の生活をサポー
トしています。また、心配事があっても
親身になって相談にのってくれるの
で、安心して過ごすことができます。



半額
助成

生徒帰省交通費助成

生徒が帰省する際にかかる往復交通費の半分
を礼文町が助成(上限50,000円)しています。
年4回まで利用可能で、帰省にかかる負担も軽
減。春・夏・秋・冬の長期休暇ごとに帰省するこ
とができるので、安心して通うことができます。

保護者来島交通費助成

子どもがどのような環境で学んでいるのかは、
ご家族にとっても重要な問題です。そのため、
町外に住む保護者来島の往復交通費の半分
を礼文町が助成(上限50,000円)しています。
年2回まで利用可能で、生徒の成長を現地で
見ることができます。



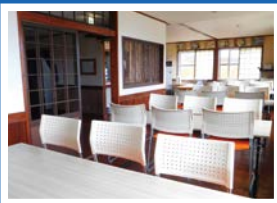
月額
3万円
朝・夜2食付

1学年定員
12名※

安心・快適な学生生活を サポートする学生寮

2020年4月に開設した学生寮「ポラリス」は青く広がる海が見下
ろせる立地です。2022年3月には安定的な学生寮の運営と生活
環境を整える体制づくりとして増築を行いました。食事は朝と夜の
2食付き、昼食やバス代なども助成され、心身ともに安心して勉学
に励む環境が整っています。近くには総合体育館や緑ヶ丘公園が
あるので放課後や休日には友達と運動して汗を流す楽しみも。仲
間とともに、かけがえのない3年間をここで過ごしてみませんか。

※定員12名を超える場合は、道外からの入学者を優先させていただきます。



月に一度の夕食会

寮生同士の交流を深めるため、月に
一度、寮生全員で夕食会を開催して
います。積極的なコミュニケーション
は、就活や社会人になってからも役
立ってくれるはず。学生寮では、
人間関係の作り方の基礎も学びます。

寮周辺の施設・店舗			
・総合体育館／徒歩約10分		・香深井郵便局／徒歩約6分	
・自然体験公園（パークゴルフ場）／徒歩約8分		・船泊診療所／車約20分	
・緑ヶ丘スポーツ公園／徒歩約3分		・コンビニ／自転車約12分	
共用設備			
・ダイニングルーム	・自転車	・電子レンジ	・トースター
・トイレ	・洗濯機	・湯沸かしポット	・Wi-fi
・大浴場	・洗濯乾燥機	・IH調理器	